

令和8年4月

市長定例記者会見次第

1. 日 時：令和8年4月15日（水） 14:00 ～ （約1時間）
2. 場 所：第一本庁舎4階 405会議室
3. 出席者：市長、関係課長ほか
4. 案 件
 - (1) 学生まちなか回帰推進プロジェクトチームの設置について (資料番号1)
 - (2) 金沢市こどもアート工房みたにの開館について (資料番号2)
 - (3) 台湾訪問について (資料番号3)
 - (4) 「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向けた専用サイトの運用と
共創パートナーズ登録の開始について (資料番号4)
 - (5) 「第25回 金沢全州姉妹都市交流 全州の韓紙と工芸展」の開催について
(資料番号5)
 - (6) 用水魅力発信動画の公開について (資料番号6)

市長定例記者会見資料

「学生まちなか回帰推進プロジェクトチーム」の設置について

学生等の若者をまちに呼び込み、賑わいを創出するとともに、学生の定着を図りつつ、大学と連携した地域展開等を一層推進し、まちなかの魅力や活力の向上を図ることを目的に、関係部局が連携して課題の解決に取り組む市内横断のプロジェクトチームを設置します。

1. 検討事項

- (1) まちなかの活性化につながる「学生のまちなか回帰」の推進
- (2) 金沢への愛着を高める「学生と地域との共創」の推進
- (3) 大学卒業後も住み続ける「学生の金沢定住」の推進

2. 組織

リーダー	新保副市長
副リーダー	都市政策局長
構成員(12課長)	企画調整課、交通政策課、文化政策課、産業政策課、 商工労働課、観光政策課、市民協働推進課、都市計画課、 住宅政策課、建築指導課、危機管理課 (事務局) 地域力再生課

3. スケジュール(予定)

令和8年4月	要綱設置	
〃 5月	第1回会議	大学・学生連携施策の現状と課題の整理
〃 6月～10月	第2回～3回	課題の解決に向けた取組の検討
〃 11月	第4回	方向性とりまとめ、次年度予算要求



令和8年4月15日 幼児教育センター 電話：243-1018

市長定例記者会見資料

金沢市こどもアート工房みたにの開館について

自由な発想による遊びを通じた表現活動により、こどもの情操教育を推進する場として、金沢市こどもアート工房みたにを開館します。

1. 開館式

日時：5月1日（金）9：30から

場所：こどもアート工房みたに（宮野町ホ79番地）

内容：市長式辞、来賓祝辞、工事経過報告、くす玉開披 など

※開館に向けて、自由に絵具を使えるアトリエや、自然を使った遊びを楽しむことができる芝生広場等を整備。

2. オープニングワークショップ

日時：同 10：00頃から（開館式終了後）

内容：ぺたぺた足あとスタンプ遊び（新設されたアトリエ2にて）

※森本いろは保育所の園児が、絵具のついたサンダルで自由に歩き、いろいろな足あとや動線の形、色のおもしろさを楽しむ。

企画：認定NPO法人 金沢アートグミ

※金沢アートグミは、これまでモデル事業である子どもアート工房企画の運営を実施しており、昨年度実施した、金沢市こどもアート工房みたに企画運営業務委託のプロポーザルにおいて運営事業者として選定されたもの。

3. 利用申し込みについて

個人利用・・・申し込み不要

団体利用・・・4月16日（木）から申込受付を開始

※申込の詳細はホームページでご確認ください

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/yojikyoikucenter/gyomuannai/1/1/24506.html>



市長定例記者会見資料

台湾訪問について

市長を団長とする金沢市訪問団が、八田技師夫妻墓前祭に参列するとともに、台南市及び台中市の両政府・市議会等に表敬訪問を行い交流を深めます。特に台南市とは、これまでの、両地の歴史、文化等を活用した、官民の交流の進展を踏まえ、両市の発展と両市民の親善に向けて、交流の促進に協力して取り組むため、「観光・文化交流促進に関する合意書」を締結します。併せて、台湾からの更なる誘客を推進するため、高付加価値旅行者向けエージェントへのトップセールスを行います。

1 訪問日程 令和8年5月6日（水・祝）～10日（日）

2 金沢市訪問団 団長 村山市長
団員 市職員、観光協会職員

3 訪問行程（予定）

■ 5／6（水・祝）

- ・小松 → 台北
- ・高付加価値旅行者向けエージェントへのセールス訪問

■ 5／7（木）

- ・台中市政府、台中市議会 表敬
- ・台中 → 台南

新・台南市政府 観光・文化交流促進に関する合意書締結

※これまでの、両地の歴史、文化等を活用した、官民の交流の進展を踏まえ、
両市の発展と両市民の親善に向けて、交流の促進に協力して取り組むため
締結するもの

- ・台南市議会 表敬

■ 5／8（金）

- ・台南旅行商業同業公会 表敬
- ・隆田 chacha 視察
- ・八田技師夫妻墓前祭 参列

■ 5／9（土）

- ・奇美博物館 視察
- ・台南 → 台中
- ・台中緑美園 視察
- ・白冷圳水流域発展協会 表敬

■ 5／10（日）

- ・台北 → 小松

市長定例記者会見資料

**「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向けた
専用サイトの運用と共創パートナーズ登録の開始について**

「木の文化都市・金沢」の継承と創出に向け、今般、「木の文化都市・金沢」専用サイトの運用を開始し、木に関わる市民や事業者等の情報を一元化するとともに、様々な主体間の連携を推進するためのプラットフォームとして活用を図る。

また、広く木に関わる市民や事業者を対象とする「共創パートナーズ登録制度」を創設し、木の文化に関する情報発信や連携事業の実施等を通じ、木を生かした魅力あるまちづくりの更なる推進につなげていきます。

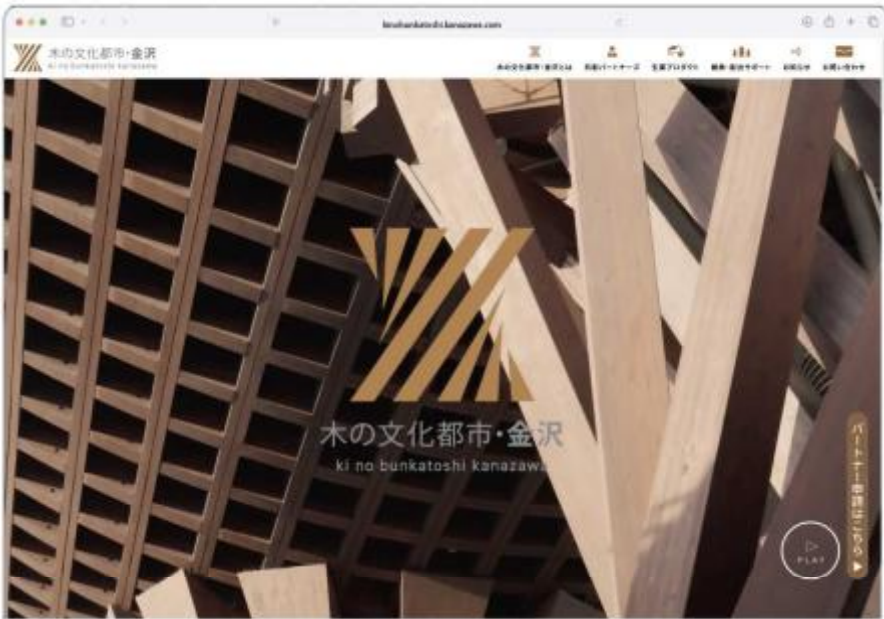
1. 「木の文化都市・金沢」専用サイト

- (1) 運用開始 令和8年4月15日（水）午後2時
- (2) 内 容
- ・木の文化都市・金沢とは
 - ・コンセプトムービー（Short：45秒、Long：3分22秒）
 - ・共創パートナーズ
 - ・生業プロダクト（共創パートナーズの製作物）
 - ・連携プロジェクト（今後掲載予定）
 - ・継承・創出サポート（各種支援制度）
 - ・お知らせ（イベント情報）

<https://kinobunkatoshi-kanazawa.com>

2. 「木の文化都市・金沢」共創パートナーズ

- (1) 募集開始 令和8年4月15日（水）午後2時
- (2) 対 象 以下の取組を実施する市民や県内事業者
- ・建築物の木質化
 - ・木材加工品の製造、販売
 - ・森林の保全、植樹
 - ・木育の推進
 - ・木の文化の普及啓発
 - ・その他木を活用した社会貢献
- (3) 役 割 共創パートナーズ相互及び市との連携
生業や活動を通じた木の文化の普及啓発 など
- (4) 登録方法 登録申請書を市に提出し、承認を受けて登録



私たちは、木とともに暮らしている。

金沢は藩政期からのまちなみを色濃く残し、現代に至るまで脈々と文化を伝えています。それを支えているのが木とともにある暮らしではないでしょうか。木造の建築をはじめ、木のしつらえや家具、工芸品や道具などさまざまな部分で木を使いその豊かさを享受しています。

「木の文化都市・金沢」として今後さらに魅力的なまちとなるように、木を育て、木で創り、使うという木とともにある暮らしを皆さんで考えてみましょう。きっとその豊かさにあらためて気がつくはずです。そして今一度木の文化を学び素晴らしい金沢を次世代へと継承していきましょう。

金沢は、木の文化都市へ。

「木の文化都市」とは？
 「木」にこだわり、まちなみに「木」があるまち
 「木」が暮らしや生産に寄り添ったまち
 「木」が伝統から未来まで継承されるまち



木の文化都市・金沢とは

私たちは、木とともに暮らしている。

金沢は藩政期からのまちなみを色濃く残し、現代に至るまで脈々と文化を伝えています。それを支えているのが木とともにある暮らしではないでしょうか。木造の建築をはじめ、木のしつらえや家具、工芸品や道具などさまざまな部分で木を使いその豊かさを享受しています。

「木の文化都市・金沢」として今後さらに魅力的なまちとなるように木を育て、木で創り、使うという木とともにある暮らしを皆さんで考えてみましょう。きっとその豊かさにあらためて気がつくはずです。そして今一度木の文化を学び素晴らしい金沢を次世代へと継承していきましょう。



共創パートナーズ

林業、設計士、大工、工芸作家など木に関わる幅広い分野から木の文化を推進



生業プロダクト

共創パートナーズが手掛けた建物や製品を紹介し、木の魅力を発信



連携プロジェクト

共創パートナーズ相互および市とパートナーズが連携した取組を掲載する予定

継承・創出サポート

- ・緊急整備地域木の文化見える化事業補助金
- ・木のある暮らしづくり奨励事業 など

お知らせ



金沢の森育クリスマス・ヴィレッジ



KANAZAWA SDGs フェスタ



令和8年4月15日
国際交流課
電話：220-2075

市長定例記者会見資料

「第25回 金沢全州姉妹都市交流 全州の韓紙と工芸展」 の開催について

姉妹都市の韓国全州市から作家団を迎え、韓紙をはじめとする工芸の展覧会を開催します。金沢市と全州市は、2002年の姉妹都市提携以来、両市の伝統工芸を交互に紹介する交流展を開催してきており、今回で25回目を数えます。

この機会にぜひ、全州と韓紙の歴史、伝統、美をご体感ください。

1. 開催概要

第25回 金沢全州姉妹都市交流「全州の韓紙と工芸展」

- ・会 期 令和8年5月20日（水）～24日（日）10:00～18:00
(最終日 17:00 まで)
- ・会 場 金沢 21世紀美術館 1階 市民ギャラリーA
- ・観覧料 無料

2. 開会式

- ・5月20日（水）14:00 市民ギャラリーA内特設会場にて
- ・韓紙文化振興院 金恵美子（キム・ヘミジャ）理事長はじめ作家団20名が出席

3. 先行ワークショップ

開会日前日、韓紙工芸作家によるワークショップを開催します。

- ・5月19日（火）①11:00～、②14:00～（各回先着10名）
- ・金沢市公式サイト内展覧会ページにて後日申込受付

姉妹都市



Since 2002



© 写真提供=全州市

第25回 金沢全州姉妹都市交流

全州の韓紙と工芸展

전주의 한지와 공예전

ジョンジュのハンジとコウゲイテン



鳳凰(額) / 許石熙 (ホ・ソッキ)

会期 = 2026年5月20日(四) - 24日(日)

時間 = 10:00 - 18:00 (最終日17:00まで)

先行ワークショップ 5月19日(四) ①11:00- / ②14:00-

会場 = 金沢21世紀美術館 1F 市民ギャラリーA

観覧料 = 無料

主催 = 金沢市・金沢市姉妹都市交流委員会・韓紙文化振興院

後援 = 全州市

姉妹都市



Since 2002

JEONJU

KANAZAWA

金沢市から 878km
の距離にある韓国・全州
(ジョンジュ) 市は、金沢市と
2002 年に姉妹都市提携を行い、
2026 年は 25 年目となります。
500 年の繁栄を誇った李氏朝鮮の
祖・李成桂 (イ・ソンゲ) の祖先が
代々暮らしたことから李氏朝鮮発祥
の地と称されています。
行政の中心地として大きな役割
を果たしてきた歴史的な都市
で、石川県と姉妹都市の関
係にある「全北特別自治
道」の道庁所在地でも
あります。

国指定宝物の豊南門 (ブンナムムン)

や韓屋村など歴史遺産が数多く残るほか、ユ
ネスコの無形文化遺産に登録されている伝統芸能

「パンソリ」が盛んです。韓紙 (ハンジ)、韓食、伝統
音楽など韓国の伝統文化が継承され、「全州に行けば、
韓国を知ることができる」とわれています。

食の里として、全州ビビンバが有名です。2012 年には食文化
都市としてユネスコ創造都市ネットワークに登録されました。

2002 年 FIFA ワールドカップの開催地になったほか、韓国三大
映画祭の 1 つ全州国際映画祭が毎年開催されています。

第 25 回 金沢全州姉妹都市交流

全州の韓紙と工芸展

전주의 한지와 공예전

ジョンジュのハンジとコウゲイテン

2026.5.20 函-24 回 10:00-18:00 (最終日 17:00 まで)
金沢 21 世紀美術館 1F 市民ギャラリー A 無料

金沢市と全州市がともに国内随一の伝統工芸産地であることから、姉妹都市提携以来、毎年交互に伝統工芸展を開催しています。全州市の伝統工芸と言えば、韓国の伝統製法でつくられた紙「韓紙 (ハンジ)」。全州の韓紙は千年の伝統を有し、丈夫できめ細かく、「韓紙」といえば全州を指すほど。韓国には古来、「韓紙の上で生まれ、一生韓紙の中で暮らし、韓紙に包まれて土に還る」という言葉があります (=韓紙の床の上で生まれ、韓紙の壁紙・障子紙・書籍に囲まれて暮らし、最期は韓紙に包まれて土に還る)。本展では、韓紙を用いた多彩な作品が海を渡り、美しい模様を切り出した小箱や、韓紙をねじってつくった糸で織られた伝統衣装など 60 作品以上が一堂に会します。全州と韓紙の歴史、伝統、美を、金沢 21 世紀美術館でぜひご体感ください。

先行ワークショップ 5月19日 ①11:00- ②14:00- 参加者募集!

展示会の開会前日、韓紙工芸のワークショップを行います。

展示会のため来訪する韓紙作家と直接交流できる貴重な機会です!

各回先着 10 人 [無料] 市民ギャラリー A 展示会 HP からお申込みください >>>



展示会 HP

問い合わせ=金沢市国際交流課 電話=076-220-2075 Mail=kokusai@city.kanazawa.lg.jp



夕焼けに染まる全州韓屋村一千年の都が抱き続けてきた、韓国伝統の姿

全州韓屋村は、全州の歴史の中で形成された、国内最大規模の韓屋密集地域です。千年都市の路地構造、瓦屋根の曲線、塀が連なり、今も生活が息づく姿は、金沢と通じるものを感じます。小さな博物館やギャラリー、伝統工芸工房、カフェ、屋台などがあちこちにあり旅行者の足を止めるほか、街が夕焼け色に染まる頃、「サンセットナイトツアー」が人気を集めています。

市長定例記者会見資料

用水魅力発信動画の公開について

藩政時代から市民生活にさまざまな恵みをもたらしてきた用水の新たな魅力発信につなげるため、ドローンを活用し、様々な視点から撮影した辰巳用水の動画を公開します。

動画の視聴をとおして、市民の用水への愛着と保全意識が醸成されること、金沢に訪れた方々に用水への関心を持っていただくことを期待しています。

1. 制作した動画

金沢の用水「辰巳用水」

- ・ロングバージョン（約10分半）、ショートバージョン（15秒）

2. 動画の特徴

辰巳用水は金沢城に水を届けるために、トンネル（隧道）や伏越^{ふせこし}がつくられるなど非常に高度な土木技術が使われています。本動画では取水口から兼六園までの約11kmに及ぶ水路が、地形を巧みに利用して台地の上に水を届ける様子を収録しています。

※伏越^{ふせこし}…敷地の高低差を利用して、高地から低地へ水道管をくぐらせ、対岸の高地へ水を届ける方法



3. 公開日

令和8年4月15日（水）15時（金沢市公式YouTubeで配信）

4. 活用方法

小学校用水出前講座（年間15回程度開催）で利用

金沢市役所庁舎前広場デジタルサイネージ（電光掲示板）での放映（予定）